



小村雪岱



杉浦非水



岸田劉生



竹久夢二



恩地孝四郎



佐野繁次郎



棟方志功



安野光雅



司修

## 第6回東京装画賞記念講演会

一般社団法人日本図書設計家協会は、装丁・装画など出版物のデザインに関する研究・啓発・振興、および装丁家・装画家などの社会的役割の発展と地位の向上、諸権利問題の改善に取り組むことを目的とする団体です。

本の態様が大きく変化しつつある現在、その歴史的価値を再認識し、さらに「本」のデザインに携わっていることの意義やその基盤を捉え直し、継続的な実践活動を通して日本の出版デザインをリードしていく団体でありたいと願っています。

2012年に設立した「東京装画賞」は、当協会が主催する「装画の魅力」を競う、一般公募のコンペティションです。「東京装画賞」発足と同時に、装画・装丁の歴史に名を残された功労者を顕彰するために、「Hall of Fame」(名誉の殿堂)を設けました。これは、日本における装画・装丁の歴史と文化、芸術的価値を再認識することを目的としています。

今回の講演会は、小林真理の著書『画家のブックデザイン』を基に、先人たちの作品を検証してみます。

### 講演＝「画家のブックデザイン」

#### — 装丁と装画の醍醐味 —

一般社団法人  
日本図書設計家協会会長

小林真理

告知＝第6回東京装画賞の告知講座—— 実行委員長による東京装画賞の説明と募集告知

日時＝令和元年9月11日(水) 16:30—18:00

場所＝桑沢デザイン研究所 1階ホール

「受講無料」 本学在校生以外、一般の方も聴講できます。

主催＝一般社団法人 日本図書設計家協会

後援＝専門学校 桑沢デザイン研究所

#### ◎講師プロフィール

(一社)日本図書設計家協会会長・理事。企画制作会社「スタルカ」主宰。アートディレクター・装丁家・美術ジャーナリスト。著書に『画家のブックデザイン』(誠文堂新光社)、『芹沢銈介・装幀の仕事』(里文出版)、編著書に『和のうつわ』(平凡社)、『漆芸の見かた』(誠文堂新光社)など、日本の手仕事を紹介する本が多数ある。

